

## Part 2: *Take It Easy!*

サポートルーム教員

田口丈貴 / 清水聡子 / 伊藤弦哉

金山千里 / 佐々木浩人 / 吉田菜那子

専門員 高野滋

昨年度、サポートルームでは「Take It Easy!」<sup>※1</sup>を発刊し、日ごろ皆さんが学習や生活の中で、困ったことや悩むことなどの解決に役立つ情報やアドバイスなどを提供してきました<sup>※2</sup>。今年度も続編を発行し、昨年度のものとは少し違った角度、視点で、五中の取組の紹介、そして情報やアドバイスをしていきたいと考えています。保護者の皆様も含め、ぜひご愛読ください。



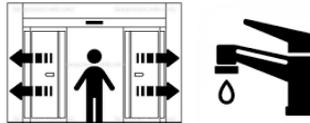
## ユニバーサルデザイン

「ユニバーサルデザイン<sup>※3</sup>の視点による授業づくり」の取組をこれからご紹介したいと思います。まず、その前にユニバーサルデザインのことを皆さんは授業やそのほかで習ったとは思いますが、確認のため、ここで復習したいと思います。

ユニバーサルデザインとは年齢、性別、人種、障害等の有無に関わらず、すべての人が使いやすいように製品、建物、施設、環境などをデザインすることです。

### 施設、設備・機器の例

- 出入口の自動ドア
- 多目的トイレ
- 水道のレバー式蛇口
- 自動センサー蛇口
- 同方向で点ける、消すができる照明スイッチ
- 音響式信号機（びよびよ、カッコー、曲）
- コイン受け皿投入など工夫を凝らした自動販売機
- ノンステップバス
- 階段横に併設されたスロープ
- 出入り部分の段差をなくした歩道



### その他の例

- シャンプー、リンスのボトル（きざみ状の突起）
- アルコール飲料ボトルの口の突起
- ペットボトルを持ったところのくびれ
- ペン、消しゴム、はさみ、カッターナイフ等の文房具各種



裏面に続きます

註 <sup>※1</sup> タイトルの Take It Easy! は、「無理せず、気楽にゆっくりいこう」という意味で、悩みや困り感を抱えていても肩の力を抜いてリラックスしてほしいという願いが込められています。

<sup>※2</sup> 昨年度のもの No:1～18 は五中ホームページにアップしてありますので、どうぞご覧ください。

<sup>※3</sup> ユニバーサルデザインはバリアフリーと混同されがちですが、バリアフリーはおもに高齢者や障害者のために考慮されているのに対して、ユニバーサルデザインはすべての人にとって使いやすいものをめざしているという違いがあります。

